

生き心地がいい人々の幸福感 今こそ大きく舵を切るべき時



野田聖子氏

衆議院議員

1960年9月福岡県に生まれる。1983年3月上智大学を卒業し、株式会社帝国ホテルに入社。その後、1987年4月岐阜県議会議員選挙に当選。1993年7月第40回衆議院議員選挙で初当選。1998年7月郵政大臣、2012年12月自由民主党総務会長、2017年8月総務大臣・女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣、2018年10月衆議院予算委員長を歴任し、現在2019年自由民主党政治制度改革実行本部長。2017年10月第48回衆議院議員総選挙（岐阜1区）で当選9期目。国の未来をつくる子どもと女性の問題に取り組んでいる。

永年勤続25年国会に飾る肖像画は
起伏の激しい政治家を支えてくれた地元後援会の人への感謝
白紙状態からものになったのは被災地への液体ミルク
広がり重要なのはキーワード 火の付け方と仕掛けにある
大義と共感が一体になって初めて動き出し効果が表れる

パラリンピックが遺すのは 人口減少は最大の国難

女性がしつかり生き子どもを産み育てられる女性政策
出生率が上がれば国の経済力が強化され国力に繋がる
パラリンピックの集客に立ちほだかる大きな壁
遺さなければならぬのはパラリンピックの意志とインフラ
やがて融合されてゆく障がい者と高齢者のために



小池百合子氏

第20代 東京都知事

1952 (昭和 27) 年 兵庫県生まれ、1976 年 カイロ大学文学部社会学科卒業。
アラビア語通訳者、ニュースキャスターを経て 1992 年政界入り。
1992 年 参議院議員、1993 年 衆議院議員、総務政務次官 (細川内閣)、経済
企画総括政務次官、2003 年環境大臣 (第 5-7 代)、2004 年内閣府特命担当大臣 (沖
縄及び北方対策) 兼任、2006 年内閣総理大臣補佐官 (国家安全保障問題担当)、
2007 年防衛大臣 (第 2 代)、2010 年 自由民主党総務会長 (第 49 代)、2011
年予算委員会理事、自由民主党国際人材議員連盟会長など歴任。2016 年東京都
知事当選 (現職) 2019 年 12 月「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定、「成長」
と「成熟」が両立した東京の実現に向けて取り組んでいる。

小池氏が音頭を取り 野田氏が実現した「液体ミルク」

小池 2020年、新年の対談は野田聖子衆議院議員を指名させていただきました。

野田さんとは長年懇意にさせていただいておりますが、今日は改めていろいろとお話ししたいと思います。思っております。宜しくお願い致します。

野田 ご指名頂きましてありがとうございます。小池さんとは最初党は別でしたが、国会でも長く一緒に過ごさせていただきました。

小池 衆議院の初当選は、同じ1993年ですね。

野田 小池さんは1992年に参議院に当選されていたので、議員としては1年先輩です。続けておられたら肖像画も飾れたのに……(笑)

小池 永年勤続25年で国会に肖像画を飾れる表彰制度はどうなっているのですか。

野田 小泉純一郎総理の前までは肖像画の作製費として100万円が支給されていましたが、その制度はなくなりしました。今は国会議員在職25年永年表彰を受けても肖像画を飾る

権利がいただけるだけで、費用は自己負担となっております。いろいろな肖像画が飾ってありますが、値段は0円から数千円まで様々だということですね。

小池 野田さんはどなたに描いていただいたの？

野田 私はいろいろな選択肢がありました。まず、夫が「描きたい」、そして大学時代の友人からも申し出があったのですが、50年保管される中で鑑賞に堪えうるものでないとい

けないと思つて熟慮した結果、出身地である岐阜県の40代の画家奥村晃史さんに描いていただきました。奥村さんの描く豚、うさぎ、羊などはリアリティがあり、且つお腹に花が描かれていたり、シユールな動物をお描きになります。私は奥村さんの絵がとても好きで作品も持っています。

小池 野田さんも絵を習つてらっしゃいましたよね。

野田 私が習つていたのは日本画で、奥村さんの絵は洋画です。奥村さんには人間も動物の一種ですから私の肖像画を描いていただけませんか。駄目元でお願いしたところ、「私

は人を描いたことはありません」と言われまして、「豚になつてもいいのをお願いします」とお伝えしたら描いて下さいました(笑)

小池 気に入つてらっしゃいますか？

野田 はい、少し若づくりでしたが繊細なタッチで美しく描いていただきました。この絵を見ながら周りの方々は私を「ああいう風に見て下さつていいのか」と感慨深かったです。肖像画作成が自己負担になつてからは、掛ける人と掛けない人が分かれる様になりましたが、「掛けない」という議員の方もいらっしゃいます。起伏の激しい政治家の道を歩んできた私を支えて下さった地元の後援会の方々に「ありがとう」という言葉はいつでも伝えられますが、その感謝の想いを肖像画という形に残して皆さんに「見ていただきたいな」と思つたんです。

画の99%は男性ですね。

野田 衆議院の方では、女性は私でまだ5人目だそうです。

小池 これまでの累積で、99・9%が男性ですね。

野田 やはり不気味ですよ。

小池 日本の場合「不気味」と思つていない事が問題なんですよ。ところで一緒に活動した中で最大の「ものになつた」テーマは「液体ミルク」ですね。

野田 頑張りましたね。当初、小池さんとそんなに強い繋がりがあつたわけではないんですよ。国会議員をお辞めになつて知事になられる時に宿題をいただき、いろいろと連携して進めた大きな大きな仕事のひとつが「液体ミルク」です。

小池 3・11の時にフィンランドにお住まいの在留邦人の奥様方が「被災地の方々に何か出来ないか」と話しあわれた結果、「フィンランドでは当たり前に乳児用に使われている液体ミルクを送りましょう」ということになつたと。当時、私は日本フィンランド議員連盟の会長で、私の秘書がフィンランド語を話せるという特異な事務所であつたことから、被

は人を描いたことはありません」と言われまして……

は人を描いたことはありません」と言われまして……

災地に届けるお手伝いをしました。
野田 小池ブレーンは優秀ですからね。

小池 通関は「緊急輸入物資」という位置づけにして、フィンランドの液体ミルクを宮城や福島の子ども達に提供することができました。私自身、阪神大震災を経験してましたから、女性の観点から、被災地での避難所の厳しい現実も目の当たりにしてきました。赤ちゃんが泣くと、学校の体育館などの避難所では居場所がないママ、環境が変わって母乳が出なくなってしまうママ、粉ミルクでは水もお湯もなく、哺乳瓶を煮沸できないという状況で使えない。一方で、そのまま飲ませることができる液体ミルクは0歳児から6か月、それ以降12か月までの2種類があり、必要な栄養素が考え抜かれているのです。世界では当たり前にある製品なんです。

野田 その後、熊本での地震が起きた時に、東日本大震災での導入事例をベースにして実践したんですね。

小池 通関方法やフィンランドとの連携については、既に経験していま

すので、熊本の保育園などに提供しました。災害の度に海外からかさばる製品を輸入するくらいなら、国内製造を進めようと研究会を設けましたが、まず法的基準がない。そんなゼロからの出発でした。
野田 その時に声をかけていただいて「第一回目・液体ミルクを考える会」に出た直後に、小池さんは知事選に出馬されて。

小池 急にいなくなった(笑)

野田 小池さんは当時国会議員として沢山仕事を持っていらっしやいました。今お話のあったフィンランドもそうですが、議員連盟の会長もやっていらっしやいましたね。

小池 フィンランドは、参議院議員の森まさこさんに後任をお願いしました。

野田 私には液体ミルクの勉強会の継続と繊維・ファッション議員連盟会長のご指名があつて「え!?! ファッション番長から地味な私に……?」と思つたんですが(笑)

地元・岐阜県の基幹産業のひとつがアパレルなので配慮して下さったんですね。アパレルの方は歴史と伝統がありますが、液体ミルクは今おつ

しゃつた様に白紙状態で、正直「1回勉強会を開いた後にボールを投げられて、どうするの? ずるいじゃない」と思いましたが、豊田真由子さんや金子恵美さんが尽力してくれて、現在は自見はなこさん、木村弥生さんが一緒に頑張ってくれています。

小池 昨日も自見さんから「やっていきます!」と会合で声をかけていただきました。

野田 私の仕事といえば、彼女達が行き詰った時に役所に電話をして「どうしてできないの?」と言うぐらいです。先程「不気味な」と言いましたが、結局あの勉強会に男性は殆ど参加せず、ほぼ絶滅危惧種の女性陣だけで進めたんです。唯一熊本の金子やすしさんは、小池さんが液体ミルクを熊本に送って持って行ってそれを使ったお母さん達が喜んでくれたという証人で、最後まで頑張ってくれました。

小池 金子やすしさんは無電柱化で最後まで法律を作ってくれて、私が遺した遺産処理、宿題に取り組んで、ひとつひとつものにして下さった。本当にありがたいです。

野田 正直、液体ミルクのボールを投げられた時には「これは、何年かかる事やら」と思いましたよ。国がやりたがらない仕事の筆頭格みたいな案件でしたから、まず最初に勉強会でいろいろなヒアリングをしましたが、農林水産省の言い分は「造り手がいない」、そして、「少子化でニーズがない」でした。厚生労働省は安全性について不安視していました。特に日本は「安全、安全、安全」できているので、それに耐え得るものが出来るのかどうか、と。

小池 ミルクの安全性に関わる事件などもありましたしね。

野田 消費者庁からは、「前例のないことなので」と言われ、業界の人も及び腰でしたが、フレッシュな女性議員達が必死で働きかけてくれて、気がついたら物事が動き出していました。中でもありがたかったのは江崎グリコと明治乳業の2社が手を挙げてくれたことです。

小池 面白いのは、いったん物事が動き出すと次々に手が挙がりはじめたことです。とても日本的で、ある意味いい現象だと思っています。
野田 これから競争も起こっていき

ますしね。

小池 まだ少し価格的に高いので、普段使いよりお出かけ用とか備蓄用ですね。災害備蓄品として、東京都はいち早く進めていました。

野田 丁度総務大臣で消防を担当している大臣でしたので、とにかく備蓄リストに液体ミルクを入れてほしいと地方にお願いをしました。確か、粉ミルクはあるけれど、粉ミルクを作れない最初の1、2日は液体ミルクがいいということだね。実際に使ってみた人のクチコミも、少しずつ流れてくるのではないのでしょうか。

小池 アメリカ製などは吸い口まで付いていますよ。

野田 それが、最初は哺乳瓶に入れて飲ませていましたが、今では日本でも本体にカチャツとつける「乳首」のアタッチメントを開発して売り出しています。子どもの数は右肩下がりですが、液体ミルクの需要は右肩上がりです。

国力強化の点から 女性政策を考える

小池 この度、東京が2040年を

目途に「東京はこうあるべし」という『未来の東京「戦略ビジョン」』を策定しました。約300頁に亘って、東京の優位性、問題点、課題を網羅しています。子どもや女性政策は私達の共通の課題でした。たとえば、日本は合計特殊出生率が非常に低い。現在日本の出生率は1・43ぐらいで、希望出生率が1・8です。今回、戦略ビジョンでは出生率の目標数値をドーンと2・07にしました。

野田 素晴らしい。その数字があれば経済的にもきちっと安定して行政運営が出来るというベースですね。

小池 人口を維持する為の最低限の数字です。東京の現状は、日本で最低の1・2です。日本中から若い女性を東京に引っ張ってきて、地元に戻ってこないと言われますが。

野田 私は地方の人間ですから地方の視点で見えてしまいます。男性はどうか分かりませんが、地方では女性の能力とポジションが見合わないので伸び悩んでしまい、自らの意志で上京し、そのまま東京で生活する女性が多いのかなと思います。

小池 東京へは大学や理美容をはじ



め様々なスキルを身につけたい女性が集まっています。一方で、まもなく東京も人口がピークアウトします。2025年にはベビーブーマーの皆さんが75歳以上になり、高齢化が加速するのは動かしがたい事実です。1989年の「1.57ショック」以来ずっとショックが続いているうちにここまでできてしまった。出生実数が100万人を切ったところか、前年より5%以上減少し、約86万人です。そして、出生数が死亡数を下回る「自然減」も50万人を超えました。

野田 岐阜市の人口が40万人ちょっとですから、国会議員一人分の選挙区がなくなるわけで、議員定数ももつと減らす必要がありますね。まず「女性も多様だ」ということを知ってもらいたいです。小池さんは仕事一途、私は子どもを持つて母親として息子一途で、育児はどんな仕事よりも大変だと実感しています。仕事上では誰かが替わってくれますが、母親には「替わり」がいません。日々不条理で想定外の事ばかりが起きますが、そういうことを経験していない側の人達が、国民の代表として

9割以上集まっていると、「子育て支援」も当然真の理解が来ず、野球に例えるとかかすっぽ抜けたフォアボールの連続って感じがしますね。

小池 そういう意味で「2・07」は「逆ショック」なんです。「東京だから言えるんだらう」と思われるかもしれないませんが、これは日本の大きな課題です。

野田 安倍総理も、選挙が終わった後の臨時国会で「今の国難は少子化だ」と初めて言い切りました。だとすれば、大きく舵を切って行かなければならない時がきているのだと思います。

小池 講演でよく使う言葉が二つあります。ひとつが「国力の計算式」という方程式です。これは、アメリカのジョージタウン大学のクライン教授が唱えている計算式で、「国力=A×B」で、因数分解すると、Aは人口+経済力+防衛力、Bは戦略+意志という、とても簡単な数式です。クライン教授は元々CIAの人で、世界の国々にその数式を編み出しました。この方程式で、どの国が弱体化し、どの国が強くなるのか

よく分かります。その点では、フランスが非常に熱心に少子化対策を行い、モデルケースとして取り上げられています。元々はフランスも人口減少が進んでいましたが、常にライバルとして意識する隣国「ドイツ」に打ち勝つ為には人口増で」と国策として少子化対策を決めたわけです。国の資産を人口増の為の施策に振り向けた結果、家事支援やベビーシッター、幼稚園や小学校の送り迎えをする親へのサポートを手厚くした。アラブ系やアフリカ系の移民の人達が子沢山であることや、フランス人の多くがカンソリックで、離婚の困難さからむしろ事実婚が多く、これらの施策を生かして人口増に転じました。

産んでくれた人に対して、その産み方を「ふしだらだ」とし、そのベナルテイとして他のひとり親、例えば事故や病気等様々な理由で配偶者を失ったひとり親の女性と差をつけようという部分がある、ようやく改善されました。そもそも女性がどう生きようと、男性が「ふしだらだ」なんて言う権利はないと思います。男性が軸となった考え方は100年以上遅れてるんじゃないでしょうか？

小池 女性政策を打ち出して、いくつかの鍵をまとめて安倍総理に渡しました。女性閣僚を増やす、女性管理職を3割に増やす等です。いくつ実践してはくれましたが、やはり本質を理解する必要があると思います。

野田 日本では、昨年暮れに税制のいろんな変化がありました。自民党は「未婚のひとり親の控除」について自慢げに話していますが、「何を今さら」という感があります。反対をしていた理由は、「未婚の女性が子どもを産むのはふしだらだ」という男性の考えからです。子どもを「産め、産め」と言っている日本の国会議員がダブルスタンダードなんで

野田 女性政策と言うと、男性達はどうしても俯いたり寝たりしますよね。先日もある女性と会った時に、「私は野田さんを応援したいと言うと、取引銀行の偉い方が、野田さんは女性政策しかない人でしょ」と言われてしまうの」と聞きました。女性がしつかり生きられれば、ちゃんと子どもを産み育てられる、つまりは国力に繋がるという発想を、日本の

エリートと言われる人達には持つて欲しいですね。

小池 女性政策の推進、一億総活躍を謳いながらも、ワールド・エコノミック・フォーラムが毎年発表しているジェンダーギャップ指数のランキングでは、2019年は153国中過去最低の121位と着実にランクを下げていますよね。日本は努力していない訳ではないのですが、他の国の覚悟の方が勝っているんです。

野田 私も先日中国に行った時に感じました。小池さんもご一緒したのによくご存知だと思いますが……。中国の外務大臣である王毅さんが、「日本の人には知られていないけれど、今中国が最も力を入れているのは女性政策だとおっしゃるんです。「元々毛沢東さんの影響下で中国の女性は結構強いでしょう」と申し上げたら、「いやいやもっと強くするんです。女性政策に取り組みることによって、先進国としての誇りを持つてるし、諸外国から指摘されている人権問題や、中国でも始まると言われている少子化対策にもなる。そして国際社会での中国の位置づけも変



野田聖子氏

わってくる」と外務大臣がおっしゃるんですよ。それに比べて日本の外務大臣はどうか。誰が、ということではなく、外交政策で自国のステータスの為に女性政策をやるよ、中国の外務大臣は言い切るんですよ。

小池 もうひとつ、100年前の報知新聞の「二十世紀の豫言」です。「未来の東京」戦略ビジョンに抜き出して載せたのですが、遠くの人と話せる、大砲が空を飛ぶなどと書かれています。

野田 つい先日のイランの司令官もドローンで……ですよね。

小池 空飛ぶ大砲は爆撃機の話ですが、ドローンも同じですね。電話や

車や、100年以上前の新聞に掲載された時には戯言と言われていたことが、今現実になっています。中には「遠方の商品を買って、それが鉄管で運ばれる」とも書いてあります。ネット通販ですね。曹洞宗の開祖である道元禅師の教えに「考えられぬことを、考えよ」（箇の不思議底を思量せよ）とあります。私が中学の時に校長先生から学びました。特に仏教の学校ではありませんでしたが。

野田 その教えがあったから小池百合子ができたのね（笑）。私も郵政大臣をやって以降、ずっと通信分野に携わってきましたが、日本はどちらかという技術優先で人が置き

去りになって印象ですね。シリコンバレーと日本は技術的にはさほど違いはないと思いますが、一番の違いは日本には「何の為に」がないということ。シリコンバレーはピンポイントで「ここが不自由だ」という課題を解決していくんです。例えば、カリフォルニアの道路はすごく渋滞することから、「疲れるから手離して運転出来るといいね」という様にモビリティが考えられています。日本の場合、優秀な技術者達と庶民の思いが繋がるのに時間がかかるので、そこは多くの国民を抱えている東京の、ペインポイント（課題や悩みの種）とAI、ICTが繋がって課題を解決して欲しいですね。

小池 ツイッターも、元は学生が「今、この時間、大学の寮のどこのコインランドリーが空いている」とお互いに知らせることから始まったそう。だから、松下幸之助の電球やエジソンではありませんが、ニーズがあった上でのマーケティングです。その辺りが、日本の「技術で勝って、ビジネスで負ける」ことになったのでしょね。

野田 日本はデータを集めることに躍起になっていますが、アメリカ等は、いいアプリケーションがあればデータは自然と集まってくる、と言います。日本の様に「データを集めてから何かやろう」という考え方は、遅れてしまいますよね。

小池 たまたま同時期に中国に行つて、北京で一緒にしましたね。あちらで「日本の岩盤規制は中国にとつてありがたい。その分成長出来ます」と言われましたよ。

野田 日本でもいろんなスマホが使われていますが、特にICT関連は後発が有利ですから、アフリカの方がいい性能のスマホを持っていたりします。どんどん変わっていく中で、どうしていくか…。

小池 「二帯一路」や、「デジタル人民元」「キヤッシュレス決済」などで世界基準を確保し、覇権に向けたブランドデザインを描く。とても戦略的ですね。日本でもこの大切な時期にもっと大きな絵を描けないものか、と思いますね。

野田 おっしゃる通りです。人口減少を甘く見ていると本当に大変なことになります。地方では既に始まっ

ていますし、人が減つて良くなった地方はありません。「人口は東京に持つていかれる」みたいな話にすりかえていますがそうではなく、男だ女だということにこだわらず、「国民が減る」ということがどんなに深刻な問題かを共有してもらいたいですね。

小池 日本は、建前があまりにも前に出過ぎているところがありますね。

野田 多分、男性は「先輩・後輩文化」なのでしょう。企業では、先輩の後に課長になり、先輩の後に部長に、先輩の後に局長になる連なりの中で、自分だけが長い連なりを断ち切れないということかもしれません

ね。明治以来の連なりを、誰かが切つてあげなきゃいけない。それはこれまで連なりの中になかった人、外国人かもしれない私達女性かもしれませんね。

パラリンピックが 日本の未来の希望に

小池 オリンピック・パラリンピックが約半年後に迫ってきました。特にパラリンピックの成功こそが東京大会の成功だと私は常々申し上げています。22もの競技があるパラリンピックについてもまだよく知られていません。できるだけ多くの方々にパラリンピックを知っていただきたい

いと「TEAM BEYOND」という組織を東京都で運営しています。既に登録者が131万人となっています。野田さんは「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟2020年パラリンピック東京大会成功ワーキングチーム」の座長でいらつしゃいますし、是非パラリンピックの成功に向けてご協力いただければと思っております。

野田 今となつては本当に感謝していますが、私がパラリンピックに関わるきっかけになったのは、森喜朗元総理からの命令でした。オリンピックは圧倒的に知名度が高いですが、パラリンピックは「観客を集められるだろうか」という時代があり、その時に「君の息子は障がい児だろうか？ パラリンピックをやりなさい」と言われ、自分ではそんなにスポーツもやらないし、オリパラにもそんなに関心がなかったのですがお引き受けしました。当時はもうひどいもので、ある大手広告代理店の社長に「パラリンピック開催に向けて、障がい者をどんどん起用してコマースナル」を一般の人に広く観てもらいたい」とお願いしたところ、



小池百合子氏

ら、その時に「君の息子は障がい児だろうか？ パラリンピックをやりなさい」と言われ、自分ではそんなにスポーツもやらないし、オリパラにもそんなに関心がなかったのですがお引き受けしました。当時はもうひどいもので、ある大手広告代理店の社長に「パラリンピック開催に向けて、障がい者をどんどん起用してコマースナル」を一般の人に広く観てもらいたい」とお願いしたところ、

「それは出来ません、視聴者からすごいクレームがくるんです。その理由は、気の毒だから、気持ち悪いから、出すことはできない」という事を言われました。3年ぐらい前の話です。テレビの影響力は大きいので、毎日観ることで様々な障がいを知って欲しいと思ったのですが、そう言われて打ちのめされました。それでもコソコソとムーブメントを起こそうと、若いアーティストの人達や、今は「新しい地図」の方達にも出演してもらい、そのファンの人達が「ついで」でもいいからパラの選手を観てくれて競技に真摯に取り組む姿勢に共鳴してくれたらいいな、と思っています。とにかく、これはなかなか大変だなと思いつながら始めたんです。圧倒的にオリンピックを期待している国民や都民が多い

中、小池都知事が取って「パラリンピックがレガシーだ」と言い切った。下さった時には本当に涙が出ました。でも、実際にレガシーとして遺産なければいけないのは、パラのインフラであり、パラの意志です。それが次の高齢社会に非常に現実的になるといえるのは当然のことだと思

ます。テレビや雑誌等を観ていると圧倒的にオリンピックのことばかりで、パラリンピックはちよつと「綺麗事」的に扱われ、まだまだ忸怩たるものがありますが、この大会のセンターで知事が言い続けてくれる限りどんどん変わってくるものだと期待しています。

小池 前回開催地のリオ・デ・ジャネイロを短期間で2度往復して、体調を崩しながらもオリンピックとパラリンピックのフラッグを託されて戻ってきたのですが、そのリオで、初めて「ボッチャ」という競技を観ました。タイと日本の決勝戦で、重

度の障がい者もプレイできる競技です。これがなかなか面白い。残念ながら日本は銀メダルに終わりましたが、帰国直後に都庁にボッチャのチームを作りました。
野田 小池さんも選手なんですか？
小池 そうです。それで対戦相手を探めてあちこちに声をかけている間にどんどん広がりました、百以上のチームができていますよ。
野田 それは障がい、健常問わずですね。
小池 例えば経済同友会や自動車工



対談を終えて

業会では受付ロビーがボッチャのコートになっています。興味深いのは、液体ミルクも一旦始まると一気に広がりましたし、ボッチャも最初は「これは何だ？」という感じでしたが、広がりますと早いですね。要は「火のつけ方」なんです。

野田 健常者も巻き込むことができるのは、面白いですね。
小池 経済界同士のボッチャ大会も開催されましたよ。
野田 経団連と同友会で……。仕掛けが大事なんです。
小池 大事です。液体ミルクも同じです。

野田 先子どもと飛行機に乗って旅行した時、若い親御さんが普通に液体ミルクを使っていて嬉しくなりました。ニーズにマッチすればうまくいくんだなと実感しましたね。液体ミルク、召し上がったことあります？

小池 ええ、舐めてみました。
野田 意外と美味しいですね。不二家の「ミルク」の液体版みたいで、栄養も豊かなので将来は高齢者にも対応出来るのではと思っています。
小池 そうですね、メーカーの方にも「さらに少子化が進むし、新たなラ

インを作ると、既存の粉ミルクと競合するから難しい」と言われました。「いえ、世界の市場は広いですよ。」とお答えしました。

野田 その通りです。今、国内での目処がついたのでこれからは輸出に目を向けていくべきです。国は自動車だけではなく、現在低迷している農産品に力を入れて新たな日本の強みにしていくんだ、と言っています。が、クオリティの高い安全安心な液体ミルクを世界の人達に届けていくというのはいい話ではないかと思えます。

小池 スーパーで乳製品の棚に牛乳と一緒に並んでいるのが当たり前になると、競争によって価格も下がります、さらに使いやすくなると期待します。

野田 残念なことに内需はどうしても弱まるので、国内の子どもの為だけの商品という発想でラインを作ってしまうと企業にも申し訳ありません。これからは、「輸出品である」ということを明確に謳ってあげて、どんな外に出していきたいと思っています。

小池 オリジナルピック・パラリン

ピックの合計で金銀銅のメダルが約5000個必要になります。古い携帯電話をはじめ小型家電を回収して、部品に使われている金銀銅を集めてメダルにする「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」も世界に届くメッセージとなりました。

世界各国のリーダーの方が都庁に来られる時には、お土産に古い携帯電話を持ってこられるんです。循環型社会モデルとして世界に伝わっているのです。私が強調したいのは、「大義と共感」の重要性です。液体ミルクには少子化対策や育児というキーワード、大義に使いやすい、便利という具体的な共感が揃っています。

「パラリンピックを頑張りましょう」と言うのは誰もが言いますが、ではどうやって進めるかという時に、ポツチャという具体的な競技を通じ、共感を抱いてもらうのです。クールビズも同じです。環境保全、気候変動対策というキーワード、大義があっても「47億年分の話でしょ？ 自分に何か関係があるの？」となるとこ

ろですが、首元を涼しくするクールビズで快適という共感が確保できました。つまり、気候変動、子育て、

パラリンピックなどの大義を小分け

にして、誰もが実感するように落とし込むことで、そこから火がつくのです。そして、結果として大義に近づいていく方法を取るのが小池式です。先程のツイッターや、アマゾン等、いつの間にか世界を席巻しているサービスも、消費者のニーズを汲んだ結果、G A F Aといわれる巨大な企業群へと成長しました。都政も

国政も、生活者のニーズを汲むことは基本です。公聴です。ただ予算をつければ施策が進むわけではありません。人の心を掴まないと進みません。家事支援についても実感から考えねばね。

野田 うちは、私が働いて夫が家にいますから、一般的な日本の家庭とは逆なんです。ですから、男性だけでなく女性しかやらない事をやっているという感覚は政策を考える時に、この政策は正しいのか生活者のニーズに合っているのか、現場と政策の大義のマッチングができます。現在男性達は頭は良く、能力は高いのですが、その現場の、自分と違う人達の

トレンドに疎い感じがしています。**小池** そうですね。大義と共感とが

ワンセットになって初めて動き、そして効果が出るんです。

野田 パラリンピックで言えば、パラリンピックの成功というのはこれからの日本の安定につながると思っています。今、こうして元気である人も、年齢と共にいつかは介助が必要になってきます。高齢者と障がい者は、だんだん融合されていくので、東京は人が多い分だけ圧倒的に多くなる筈です。それを重荷とせず、東京はオリパラのお陰で物理的なインフラも心のインフラも整備されていて居心地がいい、生き心地がいい、という世の中にする為のきつかけになりうると思います。オリリンピックというのは、選手の活躍を見て普通に「すごいな」という感じで終わりますが、パラリンピックが遺すものは市井の人達の幸せに繋がることだと信じています。どうぞ宜しくお願いします。

小池 承知しました。しっかりとやっていきます。野田さんもまた国会で頑張ってください。今日はどうもありがとうございました。

野田 こちらこそありがとうございました。

19 ●月刊公論 2020. 3